

福島第一原子力発電所 滞留水移送装置（本設ポンプA系統）運用開始に伴う  
2,3号機最下階の継続的な床面露出について

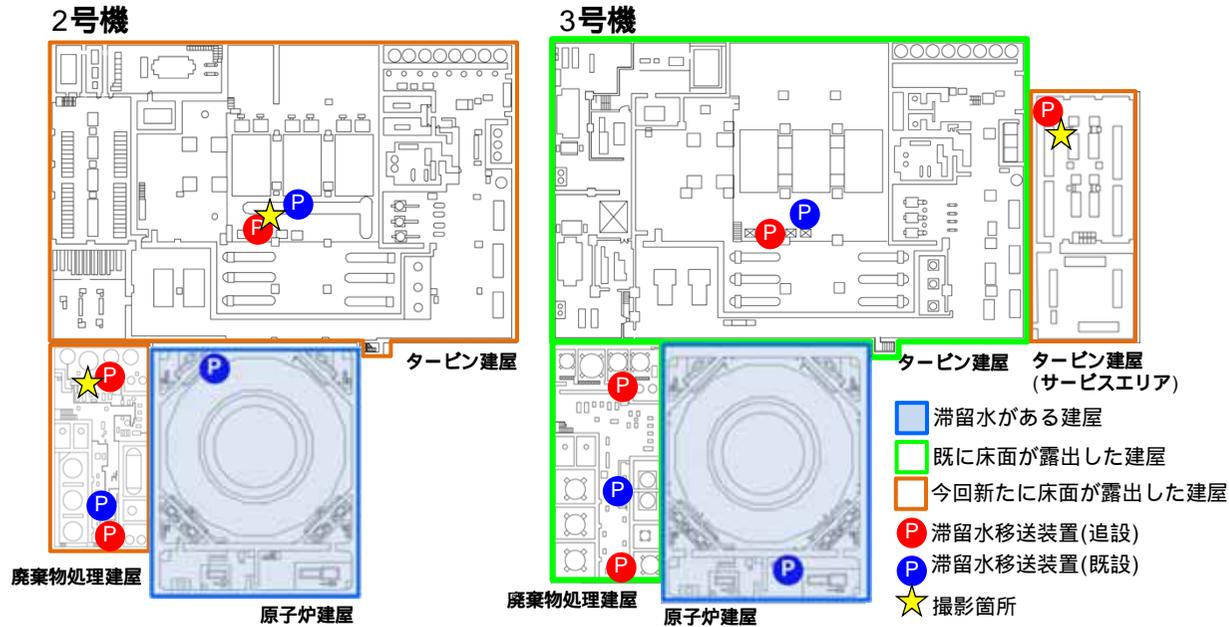
< 参 考 資 料 >  
2020年10月12日  
東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一廃炉推進カンパニー

- 1～4号機の建屋内滞留水については、2020年内の建屋内滞留水の処理完了<sup>1</sup>(床面露出状態の維持)に向けて、順次処理を進めています。
- 2～4号機のタービン建屋内及び廃棄物処理建屋内の滞留水の残水については、仮設ポンプによりプロセス主建屋及び高温焼却炉建屋へ移送し、タービン建屋及び廃棄物処理建屋の地下1階床面が露出しました。 <[2020年1月20日お知らせ済み](#)> <[2020年7月2日お知らせ済み](#)>
- 並行して、床ドレンサンプ内に滞留水移送装置（本設ポンプA・B系統）を追設する工事を進め、先行して本設ポンプの設置を進めているA系統のうち、3,4号機側（サービスエリアを除く）について、8月18日から運用開始し、8月19日に最下階の床面が継続的に露出した状態となりました。 <[2020年8月20日お知らせ済み](#)>
- このたび、滞留水移送装置（本設ポンプA系統）のうち、2号機タービン建屋、廃棄物処理建屋、3号機タービン建屋サービスエリアについて、10月8日から運用開始し、10月9日に当該エリアの最下階の床面が継続的に露出した状態<sup>2</sup>となりました。
- 今後、2020年内の建屋内滞留水の処理完了に向けて、B系統の1～4号機の本設ポンプを追設する工事を進めてまいります。

1 1～3号機原子炉建屋、プロセス主建屋、高温焼却炉建屋を除く

2 1号機タービン建屋は、2017年3月に床面露出状態の維持を確認。  
1号機廃棄物処理建屋は、2019年3月より床面露出の状態を維持。また、今回の工事に合わせて、床ドレンサンプへ本設ポンプを設置（手順書制定後に運用開始予定）。

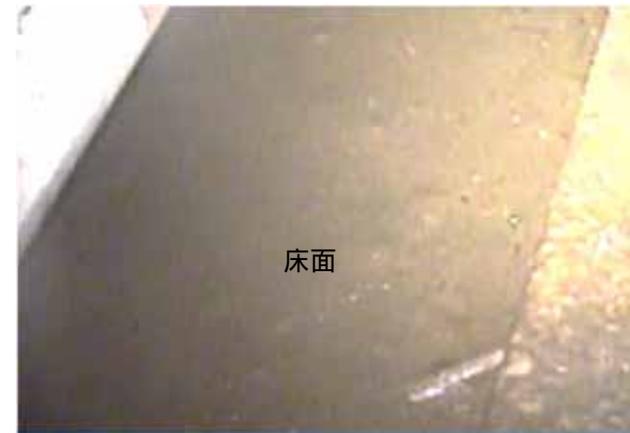
【参考】今回新たに継続的に床面露出した最下階（地下1階）の状況



3号機タービン建屋  
サービスエリア最下階床面



2号機タービン建屋  
最下階床面



2号機廃棄物処理建屋  
最下階床面